

# 詩を通して得たもの

浅見 恵子

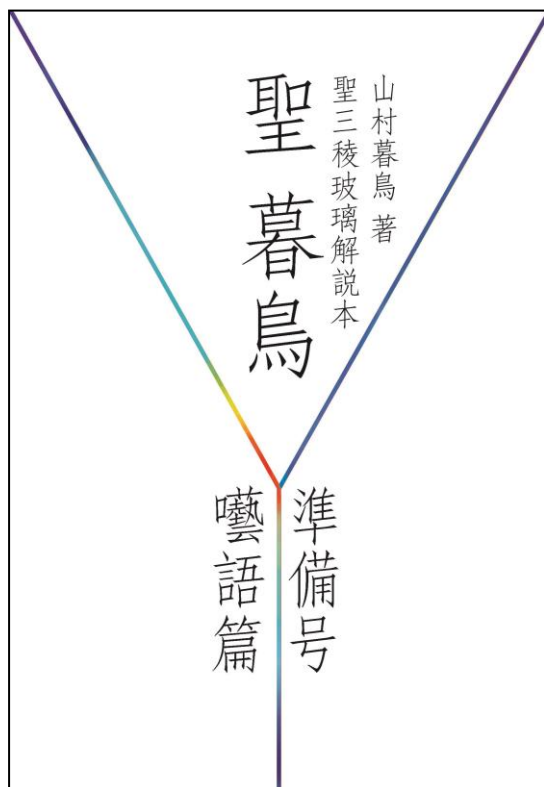


はじめまして。浅見恵子と申します。今年の一月末で二十代を卒業します。去年は、前橋市内で仲間と「詩と文学と歴史 勉強会」という勉強会をおこないながら、詩と表現を掲げたフリーペーパー「poemotion」の発行、山村暮鳥の詩集『聖三稜玻璃』の解説小冊子「聖 暮鳥」の制作や、詩人・萩原朔太郎再発見！小冊子「SAKUTARO」の制作をおこなってきました。どれも手作りですが、都内や県内のイベントで販売を行い、好評頂いております。特に「SAKUTARO」は、朔太郎をまだよくご存じでない若い方向けに制作しました。イラストや漫画を使ったり、関連書籍の解説を独自の

目線で表現したりと、朔太郎への敷衍を下げ、実はとても親しみやすいのだと、その魅力を一人でも多くの方に知って頂きたいと思っています。

何故いま近代の詩人・朔太郎や暮鳥を扱うのか。その理由は、私自身が熱烈にその詩、そして詩人自身の生き方に魅力を感じているからです。生きた時代は違っても、人間の本质、悩み、狂気、喜び、哀しみは等しく共感できるものです。作者の死後数十年の時を経ても、その作品は色褪せることなく、読み込むたびに新しい発見があり、惹かれています。そして、詩人の生きた当時の世相を、作品と合わせて知ること、現代を生きてゆく指針を見つけないかと思っています。

日々、詩のことばかり考えています。しかし私が詩を書き始めたのは二十歳を過ぎてからで、高校を卒業した頃までは、まったくと言って良いほど詩とは無関係でした。色々あって専門学校を中途退学した頃、萩原朔太郎の詩と出会いました。朔太郎に共感・心酔し、寝ても覚めても朔太郎でした。その当時、ノートに自分の思いや悩みを書き綴っていましたが、誘われて参加した詩作講座を経て、「これは詩ではないのだ」と気付きました。良い詩には批判精神があり、美しいのです。それから、詩を書きたいと思うようになりました。



詩を書くようになって気付いたのは、詩は生まれてくるものであって、「書くものではない」ということです。時々、人に「いつ詩を書いているの」と聞かれます。詩は机に向かっていても書けません。時々家の外に出て、光を浴びたり、雨に打たれたり、人とあったり、独りで泣いたり、とにかく生きることすべてが詩に結びつきます。水底から泡がポコリと水面に浮かび上がるように、言葉が生まれるのです。それを大事に家に持ち帰り、紙に書き写すのです。つまり、ペンで書く時には、既に詩は出来上がっているのです。

美しい詩は、先ず文字の並びの見た目から美しいです。一文字の無駄も無いからです。これ以上無いくらい削ぎ落とされ、選び抜かれた活字の粒が、宝石もしくは星のように光り輝いているのです。そして、そこに宿る批判精神。それは、相手を傷付けるものではなく、己と相手の道を正し、導くものです。例えるならば、詩は星座なのです。

詩に深く関わるようになり気付いたのが、世の中には「書かれた詩」というものがあるということです。「書かれた詩」は作爲的であり、分かりやすくまとまっている分、感動しないのです。他人に求められるままに、「この作品はこう見せたい」と思い作られた作品を、私は詩とは思えません。それは芸術ではなく、「広告」なのです。逆に「自身の奥底から湧いて出てきた詩」は、例えば文章が破綻気味でも感動するのです。その感動は、快感かもしれないし、不快感かもしれない。でも何も感じない、素通りされてしまう作品を作ることほど無意味なことは無く、批判されてでも自分の信念を貫くことの方が重要です。そして歴史は、多くの作品が発表当時こそ批判されたものの、後の時代に認められるという事実を経てきました。社会の価値観の不安定さを知れば、

いかに自分をしっかりと持つのが重要か分かります。私は現在、仲間と「詩と文学と歴史 勉強会」を前橋市内でおこなっています。メンバーは今現在二十代の四人です。主に近代の文学と、その当時の世相について、講師の先生と共に学んでいます。その目指すところは、「情報を受け取るだけでなく、自分の考えで判断し、それを発信していける人間になる」というものです。勉強会では、近代の詩や歴史だけでなく、直近の新聞等を読み、各自気になった記事を持ち寄って意見交換をおこないます。その時に感じるのは、自分の視野の狭さや、自分の発言の重さ等、自分に甘い未熟さです。それらを克服し、成長するのは簡単なことではありません。そのためにも、私は出来る限りの情報を得て、得られた時にその情報を判断する力、考える力を身に付けたいと思っています。自分の目で見えることを重要と考え、現場に出向き、多くの方と交流し、話し、関わりたいです。勉強会という場を通して、成長し合える仲間が得られたことを、本当に嬉しく思っています。

人間はどうしても独りよがり、自分勝手な考えに走りがちです。それにブレーキを掛けるのが、「想像」と「理解」と「伝える」ことだと思います。相手の立場を想像し、相手を理解することは難しい事です。自分のことを理解して貰い、自分の考えを伝える努力をすることはもっと難しいです。しかしそれを怠ることは、お互いにチャンスを逃してしまうことに繋がります。双方の努力が必要なのです。

今、我々を取り巻く現状は決して良いとは言えないと感じています。そんな時だからこそ、自分は何が出来るのか、日々考えています。

「聖 暮鳥」¥300、「SAKUTARO」¥400をご希望の方は [nijimusi2464@yahoo.co.jp](mailto:nijimusi2464@yahoo.co.jp) までご連絡ください。